

## (2) 配当、役員報酬・賞与についての考え方

配当につきましては、内部留保の蓄積を図るために、12年度の6円から、13年度：4円、14年度：3,000円(従来の普通株式1株当たり3円配当に相当)と減配してまいりましたが、グループ収益力を早期に強化し、自己資本の充実に目処をつけた上で、株主重視の考え方に則った配当方針を展望してまいります。従いまして、本計画を適切に履行してまいります上は、当期利益が2年連続で安定的な黒字を確保出来る16年度以降、普通株式配当を1,000円/年と徐々に増配を検討してまいります。

また、役員報酬・賞与につきましても、配当の考え方と同様に、内部留保の蓄積状況、中期的な業績展望等を慎重に検討した上で、適正な支給水準を検討してまいりたいと考えております。支給額の水準につきましては、社外取締役等をメンバーとする報酬委員会(取締役会の内部委員会)の審議を経て決定してまいります。